

秋田の農林水産業は魅力がいっぱい 就農したい人集まれ！

農業を職業とするには技術、資金、労働力など求められることがたくさん。
秋田県では、就農を目指す人に向けた数多くの支援を行っています。
さまざまな制度を活用して、自分に合った就農スタイルを見つけましょう。

まずは情報集めから！

就農について幅広い相談に対応している
「秋田県新規就農相談センター」の相談
窓口やウェブサイトを活用しましょう。

相談日 月曜～金曜／祝日は除く
場所 〒010-0951 秋田市山王4丁目1-2
連絡先 ☎ 018-893-6212 FAX 018-895-7210
http://www.ak-agri.or.jp



秋田県新規就農相談センター 検索

秋田の農業を体験してみよう！

● 就農準備基礎講座

農業の基礎を学べる座学と農作業体験ができます。
就農の可能性を考えたい方に最適な講座です。

● 農業法人インターンシップ

県内の農業法人で、インターンシップを実施しています。
・オーダーメイド型
5日間程度、希望の農業法人においてインターンシップ
・総合体験型
2泊3日で、複数の農業法人や、移住就農者を訪問し、
農作業体験などを実施

農泊ビジネスの起業という方法も！

ウェルカム秋田！農泊ビジネス起業応援事業

秋田県では、農泊ビジネス（農家民宿、農家レストラン等）の起業による移住・定住を応援しています。

※令和3年度の実施については、下記へお問い合わせください。

農泊ビジネス起業実践研修

- ・起業・経営にかかる知識習得及び実践者の下での実務体験等を実施
- ・研修期間2泊3日 / 20歳以上概ね60歳以下の方が対象

農泊ビジネス起業支援補助金

- ・施設改修等への支援を実施
- ・最大50万円 / 補助対象額の1/2以内

農家民宿の1日を
紹介した動画はこちら



お問い合わせ 秋田県農林水産部 農山村振興課
調整・地域活性化班 ☎ 018-860-1851

youtubeチャンネル
「秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会」▶

自分が目指す就農スタイルを検討しよう！

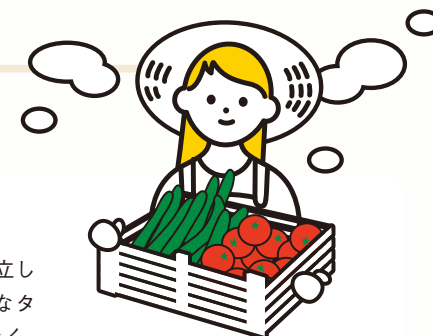
「就農」には大きく分けて2つのスタイルがあります。
安定した収入を得ながら農業に従事することができる「雇用就農」と、自分で農業を
営む「独立就農」です。自分が目指す農業のかたちに合う方を選びましょう。

1 農業法人に就職（雇用就農）

農業法人などで従業員として農業に従事する方の場合です。

農業法人とは？

法人形態で、農業を営んでいる会社などを言います。家族だけで設立した法人から、従業員が100人を超える規模のものまで、さまざまなタイプがあります。経営作目も米だけといった単一作目の法人は少なく、複数作目を組み合わせた法人が多くなっています。中には、生産、加工から販売まで一貫した経営をしている法人もあります。



秋田県内の農業法人数
815 法人（2020年6月時点）

① 就職先の農業法人を探す

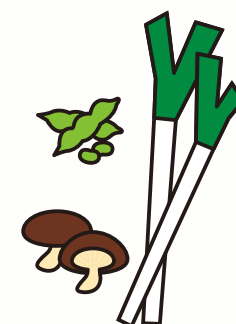
無料職業紹介所の機能を持つ秋田県新規就農相談センターがサポートします。

② 農業の技術を身につける

技術に不安がある場合でも、農業法人などに雇用され、現場での仕事を通じて技術やノウハウを習得できる制度もあります。

③ 就職してから、独立を目指すことも可能！

雇用就農後、技術やノウハウを身につけて、独立就農を目指すことも可能です。
その場合も支援機関が継続して相談に応じます。



2 自分で農業経営（独立就農）

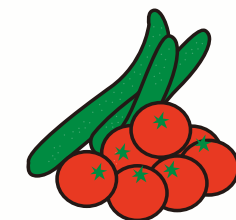
新たに農業経営を開始しようとする新規参入者は、農地や農業用機械などの営農基盤を持たないため、就農するための自己資金が必要です。また、農業技術や農業経営のノウハウの習得も必要になりますので、自治体のサポートや研修制度を活用しましょう。

○ 未来農業のフロンティア育成研修

秋田県の研究機関で行う研修で、営農に必要な経営・生産技術を習得できます。
（申請時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年）

○ 地域で学べ！ 農業技術研修

市町村の農業研修施設などで、農業技術や経営管理能力の向上を目指します。
（申請時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年以内）



このほか、県や市町村の関係機関による地域の「就農定着支援チーム」が、
就農準備から定着までの生産技術や経営管理などについて継続的にサポートします。

お問い合わせ 秋田県新規就農相談センター（公益社団法人 秋田県農業公社） ☎ 018-893-6212

林業・漁業もバックアップ!

山と海に抱かれた自然豊かな秋田は、「林業を始めたい」「漁業に従事したい」という人を多方面からサポートしています。未経験の人も、まずは情報収集から始めて就業への第一歩を踏み出ませんか?

林業

秋田的林業担い手育成中!

森林資源の豊かな秋田では、林業会社や森林組合で活躍する林業の担い手の育成に積極的に取り組んでいます。

秋田林業大学校

2年間の研修で、現場で生かせる知識・技術を習得し、将来の秋田県林業を担う若い技術者を育成します。

幅広い知識・技術と マネジメント能力の習得	民間（秋田林業大学校サポートチーム）と行政が協力し、森林・林業や木材産業などに関する幅広い知識と技術、マネジメント能力を身につけられるようサポートします。
インターンシップによる 実践力の育成	森林組合や林業会社などで林業の仕事を実際に体験し、現場で活躍するための実践力を身につけます。
仕事に生かせる 各種資格などの取得	労働安全衛生法で定められた各種の技能講習や特別教育を受講するため、就職後に速やかに現場で働くことができます。

相談・お問い合わせはコチラ!

秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室

連絡先 ☎ 018-882-4512 FAX 018-882-4443

地域を支える、
若き林業技術者を
育てます!



1年目／基礎力の習得

- 基礎的な知識と技術
- 林業機械の基本操作
- 事業管理基礎知識

2年目／実践力の習得

- 長期間のインターンシップ
- 林業機械の総合操作技術
- 事業管理者としてのマネジメント

知識・技術・資格を
生かして就職

林業に携わりたいと考えている方の相談窓口はこちら!

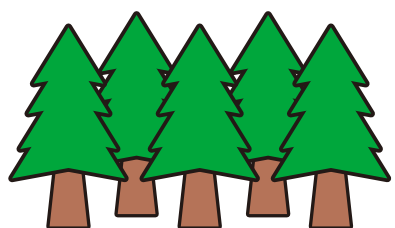
林業に関する知識や技術を体験する短期研修や、就業前に必要な資格が取得できる中期研修の実施、さらに就業先の情報提供など、総合的にサポートします。

公益財団法人 秋田県林業労働対策基金 (秋田県林業労働力確保支援センター)

連絡先 ☎ 018-864-0161 FAX 018-827-5678

秋田県林業労働対策基金

検索



漁業

秋田で漁業を目指す人を応援します!

秋田県では、漁業就業者の確保・育成に取り組んでいます。漁業の経験がなくても円滑に就業できるよう、就業前相談、実地での短期・長期研修、研修後のフォローアップなど、就業まで一貫したサポートをしています。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和3年度は県外在住者の研修受入を基本的に中止していますのでご注意ください。



資源豊かな秋田の海で
漁師を目指そう!

STEP1

トライアル基本研修 (2週間)

本県漁業に興味を持つ方を対象に、短期の基礎的研修を実施します。

STEP2

独立型・雇用型研修 (1~2年)

- 漁業就業を目指す方への、ベテラン漁業者による実践的な技術研修です。
- 研修に必要な費用について助成を行います。

相談・お問い合わせはコチラ!

あきた漁業スクール (秋田県農林水産部水産漁港課)

連絡先 ☎ 018-860-1885 ※詳細な研修の内容及び必要な手続きについてご案内します。

先輩に聞きました!

古河林業グループ 山一林業株式会社 山林課
中野 智晴 (なかの ともはる) さん

雄大な山々に囲まれて、 自然と共生する林業の魅力を実感!

東京都出身の中野智晴さんは、都内の大学を卒業後、林業に携わるため、2020年4月に秋田県北秋田市の阿仁地域に移住しました。

「古河林業グループで新卒採用され、グループ企業である山一林業に配属になり、秋田へ移住しました。学生時代、課外授業で林業の現場作業を体験したことで、自分も林業の現場で活躍したいと考えるようになりました」。中野さんは、卒業前に古河林業の就業体験で秋田を訪れ、山一林業の先輩たちから直接秋田の暮らしや仕事の話を聞いたことで、具体的に秋田への移住を考え始めたといいます。

「就業体験後、Aターンスポートセンター(P17参照)に相談し、移住の準備を進めました。窓口での手厚いサポートや、就業前に林業に必要な免許が取得できる研修のおかげで、スムーズに移住することができました」と中野さん。移住して1年が経ち、仕事にも秋田の暮らしにも慣れてきました。休日は、海や川へ釣りに出かけるのが最近の楽しみなんだとか。仕事でもプライベートでも秋田の大自然の魅力を堪能しています。

山で汗を流した後の
一杯は格別です! (笑)



profile

なかの ともはる○東京都出身。東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科卒。幼少期から祖父が住む愛知県で自然に親しみ、将来は山と関わる仕事がしたいと考えていた

住まい探しをお手伝い!

移住を決めたら、いち早く見つけたい「住まい」。住まい探しは、自分で不動産会社を回る方法もありますが、「空き家バンク」や各種制度を活用する方法も有効です。自分に合った住まいを見つけよう!!

秋田県住宅リフォーム推進事業 … 秋田県では、移住世帯の居住環境整備を支援しています。住宅のリフォームや増改築をお考えの方は、ぜひご利用ください。

	定着回帰型 実家に戻る方や住宅を相続した方など、主に移住先の住居の見通しが立っている方を支援します。	中古住宅購入型 新たに中古住宅を購入し、リフォームや増改築をする移住者を支援します。
対象者	次の全てを満たす方 ・移住・定住世帯が居住する住宅のリフォームなど工事を行う方 ・移住者もしくはその配偶者又はそれらの親もしくは子	次の全てを満たす移住者又はその配偶者 ・中古住宅を購入し、令和2年10月1日以降に所有権を取得した方 ・購入した住宅を持ち家としてリフォームなどをする方
対象住宅	一戸建て（共同住宅可）	一戸建て（築後10年経過した空き家）
対象工事	50万円以上のリフォーム・増改築工事	50万円以上のリフォーム・増改築工事
	補助対象額の 20% 、最大 40万円 を補助	補助対象額の 30% 、最大 60万円 補助 住宅の状況調査（インスペクション）は調査費用の 30% 、最大 10万円 補助
	さらに! リモートワーク環境整備費用の相当額、最大 20万円 を補助	

※県内に本店を有する建設業事業者と工事請負契約を締結する工事が対象となります。
※令和3年4月1日以降に完了し、令和4年3月18日まで完了実績報告ができる工事が対象となります。

お問い合わせ

秋田県建設部建築住宅課
☎ 018-860-2561 事業の詳細はこちら▶



空き家バンクを利用しよう!

各市町村では、空き家物件情報を集め、新生活の拠点として利用を希望する方へ、売買・賃貸物件などの情報を提供しています。

制度を利用できる市町村は、「市町村ガイド」(P40~46)でチェック!



移住者のマイホーム取得を応援します!

【フラット35】地域連携型

地方公共団体と住宅金融支援機構の連携により、一定の要件のもと、5年間0.25%の金利引き下げが受けられます。

詳細はこちら▶



気になったら
お試しよう!

移住体験住宅のご案内

本格的に移住を検討するなら、実際に秋田を訪れて感じる事が1番。そんなときに活用できる体験住宅をご紹介します。
体験ツアーや体験メニューとセットで使える場合もあるので、詳しくは市町村までお問い合わせください。

それぞれのQRコードから、さらに詳細が確認できます。

こさかまち

小坂町

小坂町移住体験住宅



明治時代の面影を感じる街・小坂。中心街からほど近いエリアです。

入居期間: 2日以上6か月以下。契約更新可能。
貸借料など: 1か月30,000円、1日3,000円

※賃貸期間が1か月未満の場合は、電気、ガス、水道などの使用料は貸付料に含まれます。



お問い合わせ

小坂町総務課
企画財政班
☎ 0186-29-3907



かづのし

鹿角市

鹿角市お試し住宅



JR花輪線鹿角花輪駅まで徒歩3分!
鹿角・花輪での暮らしを体験してみよう。

入居期間: 1泊2日以上6か月以内
※契約更新可...最長1年間/2026年7月20日までの期間
貸借料など: 2~8日2,000円/日 9~29日1,000円/日
1か月~6か月 30,000円/月
ワーケーション体験にも利用可能



お問い合わせ

鹿角市総務部政策企画課
鹿角ライフ促進班
☎ 0186-30-1310



きたあきたし

北秋田市

移住定住ネットワークセンター



秋田内陸線阿仁合駅に近接
さまざまなタイプの住宅があります。

入居期間: 1泊2日以上、同一年度内なら180日以内
※利用目的に応じて入居可能期間の違いあり。
貸借料など: 光熱水費として滞在1日あたり400円
ワーケーション体験も実施中



お問い合わせ

北秋田市総合政策課
移住・定住支援室
☎ 0186-62-8002



かみこあにむら

上小阿仁村

コアニティー



県北エリア



自然の中で生きる喜びが
ここにあります。

入居期間：1泊2日以上、1か月以内
貸借料など：1泊3,000円、1か月の上限40,000円
(光熱水費込)



お問い合わせ

上小阿仁村
総務課企画班
☎0186-77-2221



ふじさとまち

藤里町

おためし暮らしの家「粕毛の家」



県北エリア



粕毛の小さな家
薪ストーブのある語らいの場

入居期間：3日以上30日以内
(6月1日～9月30日の期間中は14日以内)
貸借料など：3日で4,000円、
以降1日あたり2,000円加算
ワーケーション体験にも利用可能



お問い合わせ

藤里町総務課
企画財政係
☎0185-79-2111



だいせんし

大仙市

大仙市魅力体験住宅「youkoso」



県南エリア



大曲・四ツ屋地区にある体験住宅
体験メニューとセットでも使用可能

入居期間：原則1泊～14泊
貸借料など：1団体1泊につき1,000円(税込)。貸し布団
代金は1セット2,000円(税別)、5泊目以降は
1セットにつき2,200円(税別)の追加。
休館日：12/29～1/3、全国花火競技大会の前日～翌日まで。



お問い合わせ

大仙市移住定住促進課
☎0187-63-1111



うごまち

羽後町

羽後町体験住宅



県南エリア



雪国でも安心のオール電化住宅
マイホームづくりの参考にも!

入居期間：3泊4日～13泊14日まで
貸借料など：1泊2,500円
(冬季：11～4月は1泊3,000円)
ワーケーション体験にも利用可能



お問い合わせ

羽後町
みらい産業交流課
☎0183-62-2111



ゆりほんじょうし

由利本荘市

「ここわき」



県央エリア



移住体験・シェアハウス・住民交流の
複合施設。住民からの身近な生活情報も!

入居期間：2日以上6ヶ月以内
貸借料など：1泊1,000円
貸し布団代は別途請求
ワーケーション体験にも利用可能



お問い合わせ

由利本荘市
移住まるごとサポート課
☎0184-24-6247



にかほし

にかほ市

お試し移住体験住宅 金浦

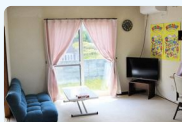


県央エリア



平屋の3LDKでWi-Fiも完備!!
駅やスーパーも自転車約5分。

入居期間：3日以上7日以内
貸借料など：日額1,000円
ワーケーション体験にも利用可能



お問い合わせ

にかほ市商工政策課
ふるさと創造班
☎0184-43-7600



秋田でワーケーション!



▲大曲の花火づくり体験



◀ Shared office
Cozyでリモートワーク

ワーケーション推進協会 HP

秋田県のワーケーション情報のチェックや、
パンフレットのダウンロードはこちら▶



ワーケーションは「ワーク」と「バケーション」を
組み合わせた造語で、休暇を楽しみながら働く、
今注目を集めている過ごし方のことです。市町村
によっては、移住体験住宅を活用し、ワーケー
ション体験をすることもできます。移住前のワン
ステップとして、秋田でワーケーション!

モデルプラン (県南エリアコースの場合)

DAY1	東京駅発 大曲駅着
DAY2 DAY3	Shared office Cozyにて終日リモートワーク (大仙市)
DAY4	角館武家屋敷見学 (仙北市) 小松煙火工業にて花火づくり体験 (大仙市)
DAY5	齋彌酒造店にて酒蔵見学 (由利本荘市)
DAY6	Shared office Cozyにてリモートワーク (大仙市) 花火伝説文化継承資料館「はなび・アム」見学 (大仙市)
DAY7	大曲駅発 東京駅着

安心に包まれた場所。 秋田の子育て事情をレポート！



「秋田って、どんな子育てができるのかな」と疑問に思う子育て世代の方も多はず。
そこで秋田で子育てサポートを行っている団体に、秋田の現状など、お話を聞いてきました！

01

proma Akita

代表 九島 千春 (くしまちはる)さん

育児を頑張る「お母さん」が
一人の女性として輝く場所を
提供したい



- ①「子どもと一緒に成長する」をテーマにした育児に悩むお母さんに向けたオンライン講座の様子。
- ②整理収納アドバイザーを講師に迎えたオンラインセミナーの様子。
- ③助産師さんを講師に迎え、「子どもに向けた性教育」をテーマにしたオンライン講座を開催した。

「子育てを頑張りすぎてしまい、働くことや、自分らしくいることを諦めてしまうお母さんは多いです。そんな女性たちの『自分らしさ』に寄り添うことを目標に『proma Akita (プロマアキタ)』を立ち上げました」と話す代表の九島千春さん。自身も2児の子を持つ母親です。

「proma Akita では、子育て中のママ向けに、育児に関することはもちろん、メンタルケアや美容、スキルアップなどのワークショップやセミナーを開催

しています。専門的なワークショップが秋田でも気軽に受けられることを、多くのママたちに知ってもらえたらと思います。イベントの講師や先生も子育てを経験した女性が多く、参加者さんの子育てや女性としての悩みを共有しながら、解決するきっかけを提供したいですね」。

2020年に発足したproma Akitaですが、立ち上げから間もなくコロナ禍に見舞われました。対面で会うことが難しくなった分、オンラインでイベン

トを積極的に開催。小さな子どもがいて、なかなか外出が出来ないママたちからも、オンラインイベントだから参加できた、という声も多いと九島さんは話します。

「悩みを抱えて辛そうにしている方が最後は笑顔になって帰っていく姿を見るとやりがいを感じます。今後はママたちのキャリアづくりもサポートできるよう力を入れていきたいです」と、笑顔で今後の展望を話す九島さん自身も、とても輝いています。



- ①小さな子どもを連れて参加できる「おしゃべりカフェ」の様子。子ども年齢に関係なく、気軽に参加することができる。
- ②天気の良い日は野外で思いっきり身体を動かすことも。
- ③親子で参加できる秋田の20種味噌作りのワークショップの様子。
- ④手形や足形をスタンプして作るエコバッグのワークショップ

由利本荘市の地域資源を生かし、人とのつながりを大事にしながら、楽しく子育てができる環境を提案する子育て支援団体「ままちょこ」。代表を務める菅原清香さん自身も2009年にご主人の仕事の都合で生まれ育った東京を離れて秋田に移住した一人です。

「秋田に来てまもなく妊娠・出産を経験しましたが、子育ての悩みを相談する相手もなく、育児サークルがどこどのような活動をしているのか、情報が得られず困っていました。SNSや子育てを通じて自分のコミュニティを広げ、同じように秋田での子育てに奮闘する仲間と6年前にままちょこを立ち上げました」。

ままちょこでは、親同士の交流を目的とした「おしゃべりカフェ」や、地元の方や企業を講師に招いた、地域の良さを体験するワークショップの開催、地域のイベントへの参加など、由利本荘市の特色を取り入れた活動に取り組んでいます。

「秋田の生活は、市場で旬の食材が安く手に入ったり、自然がすぐ近くに広がっていたりと、目には見えない豊かさを日々感じます。子どもにとって勉強はもちろん重要ですが、何もなかったところから自分で遊びを作ることや、身体を思いっきり動かすことや、学年の違う友達たちとの関わり、地域の人と交流することも大事だと教えています。

それはここでしか得られない貴重な経験です。秋田ならではの環境をいかに楽しみ、充実させるかを親子で考えることで、子育ての選択肢をいくらかでも広げることができます」。

これから移住する人にとって、知らない土地で暮らすことは心細いことも多いはず。「自分が住んでいる地域のことを知り、良さを実感することや、地域とつながり、自分のコミュニティを楽しく広げていくことで、由利本荘市での生活も子育てももっと面白くなっていくはずです。今後も、ここでしかできない活動をもっと広げて行きたいと思います」と、活動への意気込みを笑顔で語ってくれました。

お問い合わせ proma Akita

Mail : proma.akita@gmail.com
Webサイトや各種SNSで情報発信中！▶



Facebook



LINE



Instagram

お問い合わせ ままちょこ

WEBサイト : <https://mamachoco-yurihonjo.hatenablog.com/>
LINEアカウント[@462frjer]からお問い合わせください▶



LINE

02

ままちょこ

代表 菅原 清香 (すがわら さやか)さん

人と地域のつながりを
大切にする、秋田でしか
できない子育て



全国トップレベルの 子育て支援



秋田県は市町村と連携し、保育料や医療費などへの助成を充実させており、子育て家庭への経済的な支援は、全国トップレベルです。



すこやか子育て支援事業

1 保育料助成

- ◆ 一定の所得制限のもと、子どもの年齢や出生順位、利用施設を問わず、**保育料の2分の1または4分の1を助成**します。
- ◆ 平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降と、平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、**保育料の全額を助成**します。
- ◆ 平成30年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、所得制限を緩和し、**保育料の2分の1を助成**します。



2 副食費助成

これまで実施してきた保育料の助成に加え、令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化の対象とならない3歳から就学前までの子どもの副食費（おかず代）について、助成を開始しました。

- ◆ 出生順位や利用施設を問わず、**副食費の2分の1または4分の1を助成**します。
- ◆ 平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降と、平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、**副食費の全額を助成**します。



※1、2とも、子どもの出生時に県外に住んでいた場合も、移住後に適用になります。
1、2に加えて助成額や対象範囲を拡大している市町村もあります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

子育てファミリー支援事業

平成30年4月2日以降に第3子以降の子どもが生まれた世帯（施設利用者及び在宅育児者）に対し、就学前の子どもを対象とした一時預かりなどの利用料を助成します。所得制限はありません。助成の対象となるサービスや詳しい手続きについては、お住まいの市町村の窓口にお問い合わせください。

助成額 1世帯あたり15,000円（年上限額）

対象サービス お住まいの市町村で実施している一時預かり、病児保育、ショートステイ、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センターなど

福祉医療費助成事業（マル福）

一定の所得制限のもと、**中学生以下の子どもにかかる医療費の一部または全額を助成**します。



全額を助成 0歳児と市町村民税所得割非課税世帯の子ども

半額を助成 上記に該当しない子ども（ただし1医療機関1か月あたりの自己負担額の上限は1,000円となります）

※助成額や対象者の範囲を拡大している市町村もあります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

お問い合わせ 秋田県健康福祉部 長寿社会課 国保・医療指導室 ☎018-860-1351

あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト『いっしょにねっと。』

出会い・結婚などの情報から、子育てに関する情報まで集約されているWebサイトです。子育て支援センターや子育てサークルの紹介、子育てイベント情報など、子育て中の方に役立つ情報をわかりやすく掲載しています。

<https://common3.pref.akita.lg.jp/kosodate/>

いっしょにねっと。 検索



ほかにはこんなサービスも！

あきた子育てふれあいカード

子育て家庭を応援する企業や店舗（協賛店）を利用する際、カードを提示することでさまざまなサービスを受けることができます。協賛店や詳しいサービスの内容はWebサイト『いっしょにねっと。』からご確認ください。



対象 中学3年生以下の子どもがいるご家族、妊娠中の方のいるご家族
配付場所 市町村窓口（母子手帳交付時、転入時など）

子育てタクシー

荷物の多い乳幼児を伴う外出のサポートや、保護者に代わり子どもだけの送迎を行うなどのサービスを、子ども・子育てに関する一定の研修を修了したタクシードライバーが提供します。便利な4つのコースがあり、いずれも通常のタクシー料金で利用できます。利用可能な運行会社、利用のしかたなどの詳細はWebサイト『いっしょにねっと。』からご確認ください。

かんがるーコース 乳幼児と保護者が同乗する場合
ひよこコース 0～15歳までの子どもだけで乗る場合
こうのとりコース 登録している妊婦さんに陣痛が来た場合
ふくろうコース 急なトラブル・夜間の移動などの場合

※チャイルドシート、ジュニアシートが必要な場合は設置して迎えに来てくれます。全ドライバーが子育てタクシー保険に加入済みです。

利用登録・予約 各運行会社へお問い合わせください。

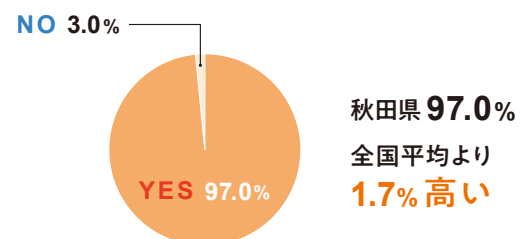
お問い合わせ 秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 ☎018-860-1553

“学力全国トップクラス”の秘密

「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)で、秋田県は毎年全国トップクラスの成績を収めています。
なぜ、秋田の学力がトップクラスなの？ その秘密に迫ります。

1 生活環境が良い！

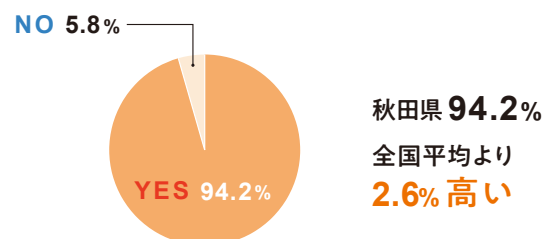
Q. 朝ごはんは毎日食べていますか？



朝ごはんを毎日食べている家庭が多い！

※いずれも「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な回答の割合（「H31全国学力・学習状況調査」小学校6年生）

Q. 起床時間は毎日決まっていますか？

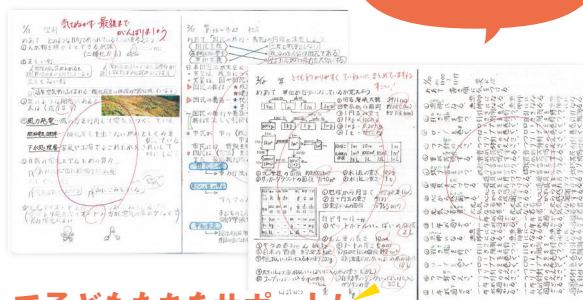


毎日、同じくらいの時間に起きる子どもが多い！

2 家庭学習が習慣として根付いています！

家庭学習とは、宿題とは別に自主的に内容を決めて行う家庭での学習方法で、秋田県内の小・中学生に根付いているものです。小学校低学年の間は、各家庭で保護者が丸付けし、アドバイスをしています。また、毎日教師が子どものノートに目を通し、コメントを書いて返します。家庭と学校が協力して、子どもたちの学びをサポートします。

家庭学習ノート



⇒ 家庭と学校が一体になって子どもたちをサポート！ ⇒

3 探究型授業のスタイルが定着！

探究型授業とは、学習の目的をもち、課題についてグループで話し合ったり、学級全体で意見交換をしたりして、子どもたちが主体的に答えを導いていくもの。授業の見通しをもたせるための「めあて・学習課題の提示」や「振り返りの活動」を通して身に付いたことを実感できる授業スタイルです。



秋田の教育を実際に体感しよう！

秋田の教育や豊かな自然を実際に体感してみませんか？

秋田県では、県外のお子さんを受け入れる「教育留学」を実施しています！

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「教育留学」の実施を見合わせています。受け入れ可能な体制が整いましたら、
美の国あきたネット（秋田県公式サイト）で詳しい内容をお伝えします。（2021年6月1日現在）

※「教育留学」についてのお問い合わせは、秋田県教育庁生涯学習課 ☎018-860-5184まで。

秋田型教育留学とは？

秋田型教育留学の3つの特徴

- ① 「オーダーメイド型（長期留学）」と「短期チャレンジ留学」の受け入れ
- ② 学習だけでなく、秋田の地域性を生かした体験活動も重視
- ③ 学び・体験・交流を総合的にコーディネートする社会教育主事の配置



オーダーメイド型留学

※現在、受け入れを見合わせています。.....

留学を希望するお子さん一人ひとりに合わせて滞在期間や内容が選べます。

場所 北秋田市、五城目町

- ◆ 利用者の要望に応じ、通年で随時の受け入れを実施
- ◆ 拠点施設での宿泊や地域での民泊など、多様な留学形態を準備
- ◆ 重視する内容（生活改善・体験・学習・交流）に柔軟に対応
- ◆ 体験型から定住型の利用へ、段階を踏んでステップアップ

五感で学ぶ！ 特色ある教育活動

秋田の自然や文化を体験・満喫することができます。



樹氷見学校

探究型授業

短期チャレンジ留学

※現在、受け入れを見合わせています。.....

夏休みや冬休みに、秋田の豊かな自然を生かした活動や「探究型授業」などを体験することができます。

短期チャレンジ留学Ⅱ

場所 北秋田市
期間 2021年12月下旬
活動 スキー体験や樹氷見学、ミニかまくらづくりなど雪国ならではのプログラムをご用意。

場所 仙北市 ※家族留学
期間 2022年1月上旬
活動 子どもには授業体験や自然体験活動、大人には地域づくり活動や魅力体験等のプログラムをご用意。

短期チャレンジ留学Ⅰ

※8月下旬実施予定でしたが、
今年度は受け入れを中止します。
来年度は、次の市町村で実施予定です。

場所 北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町

詳細は、秋田県教育庁生涯学習課のホームページでご案内しています ▶

お問い合わせ 秋田県教育庁生涯学習課 ☎018-860-5184



秋田県市町村ガイド



秋田県には25の市町村があります。

それぞれに移住・定住に向けた支援制度があるので、
気になる市町村でどんなサポートや特典があるのか
チェックして大いに活用しましょう！



アイコン説明

体験
助成

体験助成

移住体験に要する交通費や滞在費等の助成があります。

住宅
助成

住宅助成

住宅の購入費用やリフォーム費用の助成があります。

引越
助成

引越助成

引越に要する費用の助成があります。

空き家
バンク

空き家バンク

空き家バンク制度を整備しています。



県北エリア

かつのし

鹿角市

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
鹿角市 総務部 政策企画課 鹿角ライフ促進班
☎ 0186-30-1310 FAX 0186-30-1122
https://kazuno-gurashi.jp/
Email k-life@city.kazuno.lg.jp



鹿角の特産
「かつの北限の桃」

人が温かく、
笑顔あふれるまちで素敵な鹿角ライフを。

北東北3県の中央にある鹿角市は、りんごや桃などの果樹栽培が盛んです。また、ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事（花輪ばやし）」や「大日堂舞楽」などの伝統芸能、八幡平・湯瀬・大湯に代表される温泉などが魅力です。

主な移住・定住支援制度

- 宅地建物データバンク物件等を購入・貸借し、修繕や家財撤去等をした場合、最大100万円を補助します。
- 引越越し費用最大9万円を補助します。

地域限定の 移住特典

市内事業者より、淡雪こまち精米3kg、道の駅かつの祭り展示館年間フリーバスケット、鹿角のお漬物セット、かつの牛ジャッキー、八幡平ポークセットなどを！

※秋田県ふるさと定住機構の登録者または移住した当該年もしくは翌年に鹿角市内で新規就農（研修含む）を目指す方。（市外企業等からの転勤による転入者は除く）

県北エリア

こさかまち

小坂町

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
小坂町 総務課 企画財政班
☎ 0186-29-3907 FAX 0186-29-5481
https://www.town.kosaka.akita.jp/
Email kikaku@town.kosaka.akita.jp



山葡萄交配種
「小公子」

鉱山関連の施設が
レトロな雰囲気を感じさせるまち。

青森県境にある十和田湖など、雄大な自然はもちろん、明治の芝居小屋「康楽館」や、「小坂鉱山」の関連施設が今も大切に遺されていて、レトロな雰囲気が漂う小坂町。かつての小坂鉄道を再利用したレールパークなども人気です。

主な移住・定住支援制度

- 住宅の新築に最大60万円、中古物件の購入及びリフォームに最大80万円を補助します。
- 新築の場合は固定資産税が5年間減免されます。

地域限定の 移住特典

明治百年通り観光施設「康楽館」「鉱山事務所」「小坂鉄道レールパーク」の施設見学が無料！その他割引等の特典も。

県北エリア

おおだてし

大館市

体験
助成

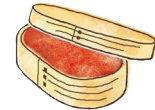
引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
大館市 観光交流スポーツ部 移住交流課 移住推進係
☎ 0186-43-7149 FAX 0186-59-8021
https://www.city.odate.lg.jp
Email iju@city.odate.lg.jp

天然杉を使った
「曲げわっぱ」



きりたんぽに曲げわっぱ、
秋田犬など名物が多い！

忠犬ハチ公のふるさと・大館は、きりたんぽの本場としても知られています。田園と都市機能が融合したまちで、医療機関やショッピングモールが多数あり、低料金の日帰り温泉も24か所あります！ほどこい田舎暮らしがあなたを待っています。

主な移住・定住支援制度

- 空き家バンクを活用して移住した方に、商品券（単身15万円、世帯30万円を上限）を支給します。
- 空き家バンク登録物件を居住のため購入し、リフォームした場合、改修費用の20%（最大50万円）を補助します。
- 移住して起業する方に最大100万円を補助します。

県北エリア

かみこあにむら

上小阿仁村

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
上小阿仁村 総務課 企画班
☎ 0186-77-2221 FAX 0186-77-2227
https://www.vill.kamikoani.akita.jp/
Email kikaku@vill.kamikoani.lg.jp



甘酸っぱい
食用ほおずき

ほおずき以外にも、
こはぜやズッキーニが特産品。

上小阿仁村は、山間の小さな村です。美しい自然に囲まれ、さまざまな伝統芸能が今も受け継がれています。天までとどきそうな秋田杉、森と川による豊かな大地、のびのびと子育てできる田舎を、あなたの「ふるさと」にしてみませんか。

主な移住・定住支援制度

- 第1子の出産に5万円、第2子以降の出産に50万円を贈呈、さらに第3子以降には6歳の誕生日を迎える前月まで月額1万円を贈呈します。
- 通勤などのために必要な定期券購入費の半額を補助します。
- 小学校及び中学校の給食費について全額を補助します。

県北エリア

きたあきたし

北秋田市

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
北秋田市 総務部 総合政策課 移住・定住支援室
☎ 0186-62-8002 FAX 0186-63-2586
http://www.city.kitaakita.akita.jp/
Email iju@city.kitaakita.akita.jp



マタギ文化が
今も残る

大館能代空港を使えば、
首都圏まで70分で行けます！

大館能代空港がある北秋田市は、羽田空港まで70分でアクセスできる場所にあり、秋田県内で最も首都圏に近い地域のひとつ。とはいえ、マタギ文化が継承されてきた自然豊かな地域でもあります。森吉山や米代川で自然を満喫する生活はいかが？

主な移住・定住支援制度

- 引越し費用や普通自動車運転免許取得費用、住宅取得費用、住宅改修費用の一部を助成します。
- 市内に居住し、就業する45歳未満の方の奨学金返還額の一部を助成します。
- 新社会人へ、1人あたり最大15万円を交付する新事業を始めました！

地域限定の移住特典

北秋田市産の「あきたこまち」10kgと、北秋田市特産品をプレゼント！
※移住定住登録（P16参照）をした方が対象となります。

県北エリア

はっぽうちょう

八峰町

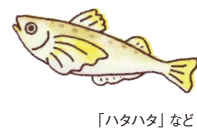
体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク

◎お問い合わせ
八峰町 企画財政課 広報企画係
☎ 0185-76-4603 FAX 0185-76-2113
http://www.town.happou.akita.jp/
Email kikaku@town.happou.akita.jp



「ハタタ」など
海の幸が豊富！

白神山地と
日本海の恵みがいっぱいです。

日本海に面した市町村の中で、最も北に位置する八峰町。世界自然遺産・白神山地の麓であり、海と山の恵みが豊かな地域です。全国でもいち早く小中学校へICT教育を取り入れ、教育環境も充実。自然を感じながら子育て支援充実の八峰町で暮らしませんか。

主な移住・定住支援制度

- 子育て世帯（夫婦のいずれかが40歳未満の婚姻世帯または18歳以下までの子どもを扶養している世帯）や支合い世帯の新築に200万円補助します。
- 空き家の購入やリフォームに最大100万円を補助します。
- 町がリフォームした一軒家に家賃最大35,000円で住むことができます。

県北エリア

ふじさとまち

藤里町

◎お問い合わせ

藤里町 総務課 企画財政係

☎ 0185-79-2111 FAX 0185-79-2293

http://f-redesign.jp/ikikata/concept/

Email kikaku@town.fujisato.akita.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



ブナの原生林を
散歩できます

首都圏から最も近い 世界自然遺産のまち。

ブナの原生林を残す岳岱はパワースポット。優しく湧く湯の沢温泉につかり、休日には素波里園地で遊ぶ。山女（ヤマメ）が舞い、鮎が走る藤琴川。世界自然遺産白神山地。その自然が生み出す水のある暮らし。日々に乾きを感じたら藤里町へ。この水は他にありません。

主な移住・定住支援制度

○NPO 法人ふじさと元氣塾が移住定住をサポート。

お問い合わせ：☎ 080-1800-7011

○医療費0歳児～高校を卒業するまで無料。

○県外から移住を希望する方に、お試し移住ツアーの参加や家財道具処分、引っ越し、住宅新築・空き家改修、普通自動車免許取得などに係る経費の一部を助成します。

県北エリア

のしろし

能代市

◎お問い合わせ

能代市 移住定住相談窓口

☎ 0185-89-2163 FAX 0185-89-1770

https://www.city.noshiro.lg.jp/

Email sougou@city.noshiro.lg.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



高さ日本一の城郭型灯籠
能代七塔「天空の不夜城」

バスケ、七夕、白神ねぎ。 恵み豊かな“おいしい”まち。

木都として栄えてきた能代市。木材加工やお祭りの伝統と、再生可能エネルギーなどの新しい産業があります。医療機関・商業施設・工業地帯、農地、海・川・山・林もある、あなたの暮らしに合わせられるまち！

主な移住・定住支援制度

○県外から移住し就労する若年世帯に、引っ越し費用や移住後の賃貸住宅初期費用、暖房器具購入・設置費用・テレワークに係る情報通信機器・整備費用を助成します。

○市内に居住し、就職する方の奨学金返還を助成します。

○無料職業紹介による就業支援のほか、新規就農や起業を目指す方も、さまざまなプログラムで支援します。

○LINEトーク機能による相談受付可。

県央エリア

おおがたむら

大潟村

◎お問い合わせ

大潟村 総務企画課 企画財政班

☎ 0185-45-2111 FAX 0185-45-2162

http://www.vill.ogata.or.jp

Email g-kikaku@ogata.or.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



「菜の花ロード」は
人気スポット

「八郎潟」を 干拓してできた雄大な景色が魅力。

広い空、緑の大地。長くまっすぐに続く道。大潟村はかつて琵琶湖に次ぐ大きさを誇った「八郎潟」を干拓してできた村で、異国を思わせる景観が広がっています。研究熱心な農家の方が、お米だけでなく幅広い農産物づくりに取り組んでいます。

主な移住・定住支援制度

○分譲地を購入し住居を新築した場合、工事費の5%（上限100万円）を補助、さらに1人あたり25万円の商品券を交付します（最大4人分）。

○多世代同居を目的とした住宅リフォームや民間アパートに居住する方などにも各種助成を行っています。

県央エリア

ごじょうめまち

五城目町

◎お問い合わせ

五城目町 まちづくり課

☎ 018-852-5361 FAX 018-852-3151

https://gojome.net/

Email yuchi@town.gojome.akita.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



五城目名物のだまこ鍋！

移住起業者が、 新たな風を吹き込み続けています。

525年の歴史を誇る五城目朝市、そして、若者の出店やチャレンジを応援する「ごじょうめ朝市 plus+（通称：あさぶら）」は、賑わいと活気で満ちています。また、郷土食だまこもち、日本酒、キイチゴ、山菜など、おいしい食材に恵まれています。

主な移住・定住支援制度

○閉校となった木造小学校を活用した「五城目町地域活性化支援センター」は起業支援の拠点となっており、先輩移住者の方や地域おこし協力隊が新しい発想の実現に奮闘中です。町の地域資源を活かして、「ドチャベン」（土着ベンチャー）にチャレンジしませんか？

県北エリア

みたねちょう

三種町

◎お問い合わせ

三種町 企画政策課 企画係

☎ 0185-85-4817 FAX 0185-85-2178

http://www.town.mitane.akita.jp/

Email kikaku@town.mitane.akita.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



国内有数の生産量
「じゅんさい」

きれいな空気と水で育つ じゅんさいの郷

じゅんさいで有名な三種町。町民みんなで温かく迎えてくれることが魅力です。オレンジ色の夕日に会える海岸、みどり色の田園風景、澄んだ空気の中でのんびりとした田舎ライフが味わえます。人の優しさを感じながらゆったりとした時間の中で新しい自分に出会ってみませんか？

主な移住・定住支援制度

○0歳児～高校卒業までの医療費が全額無料です。

○小学校入学時にランドセルをプレゼントします。

○保育料は第1子1/4または1/2を助成、第2子以降は無料です。

○婚姻届提出後、2か月以内に町内の同一住所に居住された夫婦へ10万円を交付します。

○若者世帯（50歳以下）や子育て世帯の住宅取得に最大120万円を補助します。

県央エリア

おがし

男鹿市

◎お問い合わせ

男鹿市 総務企画部 企画政策課 移住定住促進班

☎ 0185-24-9122 FAX 0185-23-2922

http://www.city.oga.akita.jp/

Email oga_iju@city.oga.akita.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



年末の風物詩
「なまはげ」

秋田といえば「なまはげ」。 実は男鹿の伝統行事です。

三方が海にひらかれた半島で、海あり山あり、マリナクティブティーやサイクリングなど、自然の中での遊びを満喫できます。「おがっ子ネウボラ」による子育てサポートや、子どもの医療費助成などの子育て支援体制も充実しています。

主な移住・定住支援制度

○本市へ移住する世帯の住宅の取得や改修、もしくは住宅の賃貸に要する費用の一部を助成します。

○本市への移住希望者の暮らし体験、下見に来市した際の交通費の一部を助成します。

○オンラインによる移住相談を受付しています。

○空き家・空き地バンク制度があります。

県央エリア

はちろうがたまち

八郎潟町

◎お問い合わせ

八郎潟町 産業課

☎ 018-875-5803 FAX 018-875-5950

http://www.town.hachirogata.akita.jp/

Email sangyou@town.hachirogata.lg.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



冬は氷上で
わかさぎ釣り！

お出かけにちょうど良い、 住みやすい町です。

国道7号線や、JR八郎潟駅、そして高速道路のICがあるため交通の便が良く、秋田市や能代市までは1時間程度で、無理のない通勤・通学ができます。また、開けた平野に位置していることから、県内では積雪も少なく、一年を通して住みよい町となっています。

主な移住・定住支援制度

○町外から移住・定住する世帯が空き家を購入し、リフォームする場合に補助対象額の20%最大40万円を補助します。

※18歳以下の子と同居の場合30%最大60万円

○就職のため、移住・定住する方に支援金を交付します。

※45歳未満又は新卒者。年額3万円を3年間

○0歳児～高校生までの医療費が無料です。

県央エリア

いかわまち

井川町

◎お問い合わせ

井川町 総務課

☎ 018-874-4411 FAX 018-874-2600

http://www.town.ikawa.akita.jp/

Email soumu@town.akita-ikawa.lg.jp

体験
助成

引越
助成

住宅
助成

空き家
バンク



桜の種類が豊富な
日本国花苑

さまざまな桜が楽しめる 「日本国花苑」は憩いの場。

日本各地から集められた200種2,000本の桜を楽しむことができる「日本国花苑」。スポーツ施設や子ども向けの遊具エリア、バラ園などがあり、休日は子どもからお年寄りまで、幅広い年代が思い思いの休日を過ごしています。

主な移住・定住支援制度

○高校生までの医療費無料、全町民を対象とした健診、公共施設・駅・ショッピングセンターなどを毎日巡回する無料バスにより、暮らしをサポートします。

○県外から移住し、町内の空き家を購入した方に対し、リフォーム費用を助成します。（工事費の15%、30万円まで）

県央エリア

かたがみし

潟上市

◎お問い合わせ

潟上市 総務部 企画政策課 企画政策班
☎ 018-853-5302 FAX 018-853-5211
https://www.city.katagami.lg.jp/
Email kikaku@city.katagami.lg.jp



県庁所在地・秋田市に隣接。 首都圏へのアクセスも◎！

天王グリーンランドには「スカイタワー」やJFA公認の人工芝サッカー場があり、八郎湖に向かって広がる田園風景や日本海などの雄大な景色やスポーツが楽しめます。秋田市に隣接し、仕事・遊び・買い物へのアクセスが良いのも魅力です。

「道の駅てんのう」
天王グリーンランド

主な移住・定住支援制度

- 第3・4子の出産に30万円、第5子以降には50万円を支給します。
- 空き家購入・リフォームされた子育て世帯、または移住世帯に、費用の30%・最大40万円を助成します。
- 市外から移住して創業・起業する方に、経費の75%、最大50万円を助成します。



県央エリア

あきたし

秋田市

◎お問い合わせ

秋田市 企画財政部 人口減少・移住定住対策課
☎ 018-888-5487 FAX 018-888-5488
https://www.city.akita.lg.jp/
Email ro-plpo@city.akita.lg.jp



ちょうどいいから、住みやすい 秋田の県庁所在地。

美術館やショッピング、最新医療施設など、都市機能の利便性は享受したい、けれども時には喧騒から解放され、自然に包まれ心を癒したい。充実した都市機能と豊かな自然を併せ持つ秋田市には日々を暮らすうえでの“ちょうどよさ”があふれています。

東北3大祭りの1つ
「秋田竿燈まつり」

主な移住・定住支援制度

- 県外から移住する子育て世帯や若者世帯の住宅の新築・購入や賃貸、転居および生活必需品などに係る費用を補助します（一定の要件あり）。
- 東京の移住相談八重洲センターでは対面とオンラインによる移住相談の他、無料で仕事探しをサポートします。
・移住相談八重洲センター TEL0120-99-1101
- 県外から移住して創業する方に、創業に必要な経費の一部を補助します（一定の条件あり）。



県南エリア

だいせんし

大仙市

◎お問い合わせ

大仙市 企画部 移住定住促進課
☎ 0187-63-1111 FAX 0187-63-1119
https://www.city.daisen.lg.jp/
Email iju@city.daisen.lg.jp



花火はもちろん！ 自然や子育て支援も魅力

全国花火競技大会「大曲の花火」が開催され、市町村別米収穫量が全国第2位を誇る日本有数の米どころである大仙市は、18歳以下の子供の医療費無償化など子育て支援に力を入れています。伝統的行事や食などの地域資源にも恵まれた大仙市で暮らしてみませんか。

大曲の花火は日本最高峰！

主な移住・定住支援制度

- 県外から移住される方の住宅取得費用、若者・子育て世帯の家賃、住宅改修費用、引っ越し費用の一部を支援します。
- 大仙市内で創業を目指す方に対し、事業拠点費（資金・礼金、事務所改装費等）や設備導入費、宣伝広告費の一部を支援します。
- 無料職業紹介所による就業支援や面接時の交通費を支援します。



県南エリア

せんぼくし

仙北市

◎お問い合わせ

仙北市 総務部 地方創生・総合戦略室
☎ 0187-43-3315 FAX 0187-43-1300
http://www.city.semboku.akita.jp/
Email sousei@city.semboku.akita.jp



田沢湖や武家屋敷、 温泉など特色の多いエリア。

日本一の深さを誇る「田沢湖」、桜の名所として知られる「角館の武家屋敷」、秘湯として人気の高い「乳頭温泉郷」など、魅力があふれ、風光明媚な仙北市で、あこがれの田舎暮らしをしてみませんか？

神秘的な輝きを放つ田沢湖

主な移住・定住支援制度

- 定住促進奨励金として、新たに取得した住宅の固定資産税納付相当分を初年度から3年間助成します。
- 市内に定住するための住宅を新築、または建売を購入する45歳以下の夫婦に最大70万円を補助します。
- 市外から移住し、定住するため空き家を購入・リフォームする世帯に、改修費の15～20%（最大40万円）を助成します。



県央エリア

ゆりほんじょうし

由利本荘市

◎お問い合わせ

由利本荘市 まるごと営業部 移住まるごとサポート課
☎ 0184-24-6247 FAX 0184-24-6268
https://yurihonjo-teiju.jp/
Email iju@city.yurihonjo.lg.jp



刺繍が美しい
本荘ごてんまり

自分に合った 不便と快適を見つけるまち

水族館はない！けれど海水浴場はある。立ち食いそばはない！けれどおいしいそば屋さんはある。ジェットコースターはない！けれど子どもが楽しめるレジャー施設はある。不便なこともあるけれど、あなただけの快適な暮らしが見つけられる場所、それが由利本荘市です。

主な移住・定住支援制度

- 移住を希望される方には、仕事や住まいなど、暮らしに関する情報提供をワンストップでサポートします。
- 2人以上の世帯で県外から移住された方には、住居要件などに応じて30万円の定住促進奨励金を交付します。
- 保育料の軽減や、中学生までの医療費無料、市独自の子育て支援施策など、子育て支援制度が充実しています。



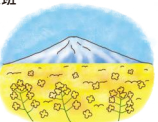
県央エリア

にかほし

にかほ市

◎お問い合わせ

にかほ市 商工観光部 商工政策課 ふるさと創造班
☎ 0184-43-7600 FAX 0184-43-3239
https://www.city.nikaho.akita.jp/
https://www.nikahome.jp/
Email shoukou@city.nikaho.lg.jp



豊かな自然と テクノロジーが調和するまち。

鳥海山と日本海の豊富な自然の恵みに囲まれながら、製造業の事業所が集積する「ものづくりのまち」です。県内では比較的積雪が少ないので住みやすく、充実した子育て環境があります。山と海のレジャーと一緒に楽しめるのも魅力です。

「秋田富士」とも
いわれる鳥海山

主な移住・定住支援制度

- 無料職業紹介所による就職相談などのマッチング支援や、最大100万円を交付する定住奨励金、若者夫婦や子育て中の移住者向けの家賃助成があります。
- 親の所得に関係なく、保育料の完全無償化や高校生までの医療費無料が受けられるなど、子育て世代応援のまちです。



県南エリア

みさとちょう

美郷町

◎お問い合わせ

美郷町 商工観光交流課 交流・商工班
☎ 0187-84-4909 FAX 0187-85-2107
http://www.town.misato.akita.jp/
Email kanko@town.akita-misato.lg.jp



清水の里として知られる、 のどかなまちです。

日本名水百選のひとつに選ばれた「六郷湧水群」があります。また、日本古来の小正月行事を今に伝える貴重な祭りとして、国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のかまくら」など、文化的にも豊かな地域です。

生活に密接した
清水が多い

主な移住・定住支援制度

- 40歳未満の方や、18歳以下のお子様を扶養される方が、定住のため300万円以上の住宅の整備（新築・購入・リフォーム等）を行った場合、奨励金を交付します。
- 新たに美郷町で起業される方に、事業所開設に要する経費の1/2（最大200万円まで）を助成します。



県南エリア

よこてし

横手市

◎お問い合わせ

横手市 総務企画部 経営企画課
☎ 0182-35-2164 FAX 0182-33-6061
https://www.city.yokote.lg.jp/
Email kikaku@city.yokote.lg.jp



豊かな食、伝統に 多彩なヒトが集まるまち。

果物、お米、野菜、発酵文化などの豊富な食や、増田の町並みなどの伝統が残り、豊かな暮らしができる「素材」がいっぱいです。恵まれた自然と教育環境の中で、子どもはのびのびと子どもらしい時間を過ごしています。

「かまくら」は2月に開催

主な移住・定住支援制度

- 移住して起業される方の起業経費を助成します。また、専門家による起業支援を受けることができます。
- 移住して新たに農業経営を始める方に対し、立上げに要する経費を助成します。
- 保育料・副食費を助成します。また、中学生までの医療費が全額無料です。



県南エリア

ゆざわし

湯沢市

◎お問い合わせ

湯沢市 協働事業推進課
☎ 0183-55-8274 FAX 0183-73-2117
http://www.city-yuzawa.jp/
Email mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp



小野小町のふるさと

湯沢美人と出会い 匠の技に惚れるまち。

秋田県の南の玄関口で、小野小町生誕の地と伝えられる秋田美人の里。雄大な自然の中にも雅な情緒の漂うまちです。また、日本三銘うどんと称される福庭うどんや、老舗の酒蔵が醸す銘酒、約800年の歴史と伝統を誇る川連漆器など、伝統の技が光る匠の里です。

主な移住・定住支援制度

- 空き家バンク登録物件の改修費に対して一部を助成します。
- 秋田県の奨学金返還助成（一般分）に上乗せして、返還額の一部を助成します。
- 「子育てにやさしいまち」を目指し、クラウドソーシング・産後ケア・病児保育室等仕事と子育ての両立を支援しています。

体験助成
引越助成

住宅助成
空き家バンク

県南エリア

うごまち

羽後町

◎お問い合わせ

羽後町 みらい産業交流課
☎ 0183-62-2111 FAX 0183-62-2120
http://www.town.ugo.lg.jp/
Email kanko@town.ugo.lg.jp



「西馬音内の盆踊り」

「緑と踊りと雪のまち」 羽後町で実生活を体験！

優雅で妖艶な雰囲気が観光客を魅了する「西馬音内盆踊り」は、日本三大盆踊りのひとつで毎年8/16～18に開催されます。のどかな田園風景と、あきたこまち・羽後牛・オクラ・キュウリ・トマト・ふくたちなど、市場での評価が高い食材を満喫しませんか。

主な移住・定住支援制度

- 県外から初めて羽後町に住む方が半数以上いる世帯で、住宅を新築または購入した場合、最大100万円の住宅取得推奨金を助成します。
- 子育て世帯（18歳未満がいる世帯）に対して、町内業者によるリフォーム費用の20%、最大20万円を助成します。
- 第3子以降の子供に対して6歳まで毎月1万円を支給します。更に、第4子に10万円、第5子には20万円を6歳の時に支給します。

体験助成
引越助成

住宅助成
空き家バンク

県南エリア

ひがしなるせむら

東成瀬村

◎お問い合わせ

東成瀬村 企画課
☎ 0182-47-3402 FAX 0182-47-3260
http://www.higashinaruse.com/
Email kikaku-h@vill.higashinaruse.akita.jp



日本の原風景が
今も残る東成瀬村

星空が美しく、蛍が飛び交う 《日本で最も美しい村》

「日本で最も美しい村」のひとつに選定された、のどかで美しい村。夜は美しい星空が広がり、夏には蛍が舞う景色が見られます。春の若葉、夏の深緑、秋の紅葉、そして冬の雪景色。四季折々の美しい原風景に抱かれた生活はいかがですか？

主な移住・定住支援制度

- 定住のため購入した空き家の改修費の1/2、最大100万円を助成します。
- 移住してから1年以上定住された方、1人あたり5万円を上限に商品券を交付します。

体験助成
引越助成

住宅助成
空き家バンク

もっと知りたい！ 秋田の市町村

ここまでご紹介した25の市町村を秋田県移住・定住総合ポータルサイト『「秋田暮らし」はじめの一步』でさらに詳しくご紹介しています。

各市町村のPRムービーや移住者インタビュー、移住サポート情報や暮らしの情報まで、もっと知りたい秋田の移住について触れてみませんか？



秋田県移住・定住
総合ポータルサイト

『「秋田暮らし」はじめの一步』▶



秋田へ
ようこそ！

秋田暮らしを応援する お役立ち情報

移住お得区プレゼント！

秋田県に移住されてきた方へ歓迎の気持ちを込めて、
秋田のプロスポーツチームの無料招待券等をプレゼント！「スポーツ立県あきた」を体感しよう！

対象 移住定住登録（P16）をして、秋田に移住された方



秋田ノーザンブレッツ

2021シーズン

ホームゲーム 無料招待 [注1]

秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ
☎ 018-863-0665
http://www.northern-bullets.com/



ブラウブリッツ秋田

2021シーズン ホームゲーム

観戦チケット引換券 [注1、2]

株式会社ブラウブリッツ秋田
☎ 018-874-9777
https://blaublitz.jp/



秋田ノーザンハピネッツ

2021-22シーズン

ホームゲーム無料招待券 [注1、3]

秋田ノーザンハピネッツ株式会社
☎ 018-835-5582
https://northern-happinets.com/

[注1] 新型コロナウイルスの影響により、対象となる試合が、無観客試合、または開催できない場合があります。

[注2] 無観客ならびに入場制限を行っている試合については、対象外となります。

[注3] 無料招待については事前申込が必要です。詳細についてはポータルサイト『「秋田暮らし」はじめの一步』等でお知らせいたします。

県内就職後3年間で最大60万円助成します！

奨学金返還助成制度

民間企業就職者のほぼ全員が対象の「一般分（助成率2/3）」と、特定業種認定企業に就職する大卒者などが対象の「未来創生分（助成率10/10）」の2種類を用意！正規雇用の方に限らず、中途退学された方や一定の要件を満たす既卒者の方も対象です。

お問い合わせ 秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 調整・県内定着促進班 ☎ 018-860-3751

県内就職者の
奨学金返還を
支援！

ポイントを貯めて、秋田をお得に楽しもう！

秋田GO!ENアプリ

秋田の就活情報が手に入り、県内就職後、各種優待サービスを受けられる秋田県の就活アプリです。

（一部のサービスは県内就職前でも利用可能です。）



無料

ACCESS MAP

※ 2021 年 7 月現在

着々と整備が進む秋田の 交通アクセス網

空路

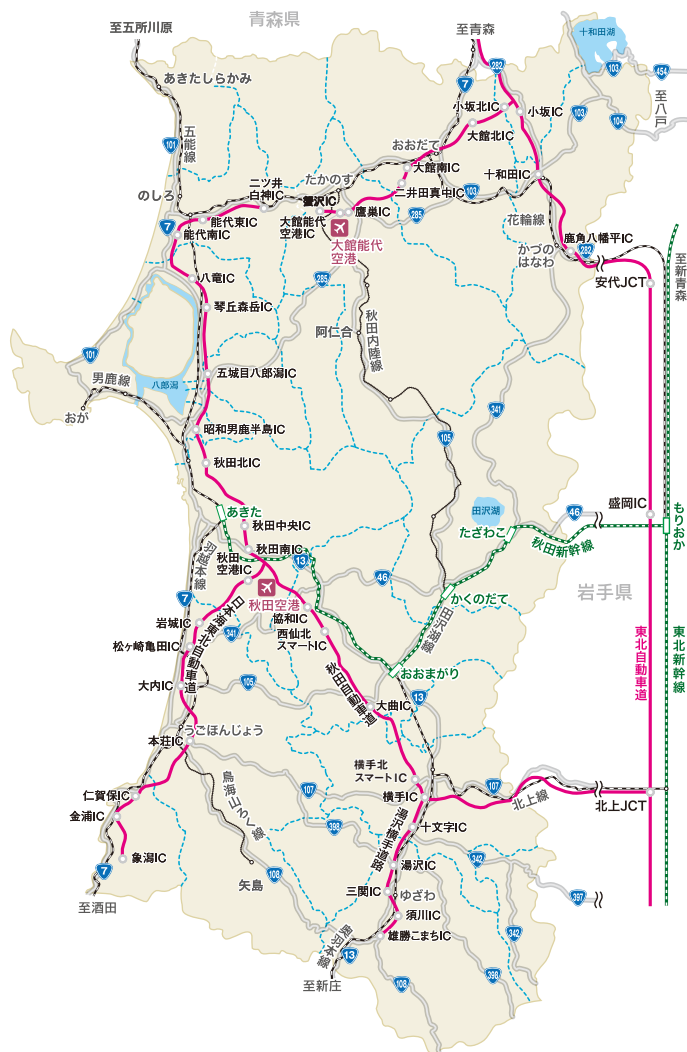
秋田空港（東京行、1日9便）、大館能代空港
（東京行、1日3便）の2つの空港から、
約1時間で東京へ！

鉄道

秋田新幹線「こまち」は、東京～秋田間を
最速3時間37分で結びます！

道路

高速道路が整備され、県内や周辺地域への
移動がより快適に！
県内の主要都市から90分で空港へ！



※地図は略図です。

県外から



飛行機の場合

羽田空港～秋田空港
所要時間／約1時間5分

羽田空港～大館能代空港
所要時間／約1時間10分



新幹線の場合

東京駅～秋田駅
（秋田新幹線「こまち」）
所要時間／最速3時間37分



車の場合

東京都内～秋田中央IC
（東北自動車道・秋田自動車道経由）
所要時間／約7時間30分



車の場合

秋田中央IC～横手IC
所要時間／秋田自動車道で約50分
距離／63.1km

秋田中央IC～大館南IC
所要時間／秋田自動車道と
国道7号線経由で約1時間30分
距離／111km

秋田中央IC～本荘IC
所要時間／秋田自動車道経由
日本海東北自動車道で約40分
距離／50.3km

東京・秋田

宮城・秋田



新幹線の場合

仙台駅～秋田駅
（秋田新幹線「こまち」）
所要時間／最速2時間5分



車の場合

仙台宮城IC～秋田中央IC
（東北自動車道・秋田自動車道経由）
所要時間／約2時間58分



飛行機の場合

中部国際空港 セントレア
～秋田空港
所要時間／約1時間20分



新幹線の場合

名古屋駅～東京駅
（東海道新幹線）
東京駅～秋田駅
（秋田新幹線「こまち」）
所要時間／約6時間



飛行機の場合

伊丹空港～秋田空港
所要時間／約1時間20分

※車による所要時間は、走行速度や
道路渋滞によって異なります。

大阪・秋田

【お問い合わせ】秋田県 あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進班 ☎ 018-860-1234 FAX 018-860-3871

秋田県移住・定住総合ポータルサイト

秋田暮らし はじめの一步

検索

秋田県観光ガイド

アキタファン

検索